

平成28年10月24日（月） 「日常の五心」

昨日は、鈴木小の校庭で回田秋祭りが開催されました。お天気も良く、皆さんも大勢来ていましたね。玉入れをしたり、オリンピッククイズに挑戦したり、食べる物も焼き芋にポン菓子、カレーライスといろいろあって、とても楽しい秋祭りでした。前日から一生懸命準備をしてくださった回田町会の皆さんに心から感謝です。皆さんの住んでいるこの地域は、本当に素晴らしい地域だと思います。

さて、先週の金曜日は、4時間授業でしたが、実は、先生方みなで小平第七小学校の研究発表会に参加してきました。その研究発表会の最後に、この人（古賀稔彦さんの写真を見せる）の講演会、お話を聞く機会がありました。とてもいいお話だったので、今日は、そのお話をしたいと思います。

皆さんは、この人を知っていますか。柔道家の古賀稔彦さんです。

古賀さんは、「平成の三四郎」と呼ばれた柔道家で、1988年の北京 1992年のバルセロナ、1996年のアトランタと3回連続でオリンピックに出場し、バルセロナ大会では、オリンピックの直前に膝を汚しながら、痛み止めの注射を何本も打って試合に臨み、見事、金メダルを獲得したすごい柔道家です。今年のリオオリンピックにも女子柔道のコーチとして参加していたので、テレビで見覚えのある人も多いと思います。

この古賀さんですが、現在は、女子柔道のコーチのほかに、ご自身の家で「古賀塾」という柔道の町道場を開いておられます。その道場で、大切にしていることは、「当たり前のことを当たり前に行えるようになること」だそうです。では、当たり前のこととは、どういったことでしょうか。古賀塾では、柔道のけいこを始める前に、次の5つの言葉をみんなで大きな声でいうそうです。今日は、私が先に言いますので、みなさんも私の言った後に続いて元気よく言ってみてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1つ 「はい」という、素直な心 | 1つ 「すみません」という、反省の心 |
| 1つ 「私がします」という、奉仕の心 | 1つ 「おかげさまで」という、謙虚な心 |
| 1つ 「ありがとう」という、感謝の心 | |

一つ一つの言葉の意味は、ここではお話しませんが、担任の先生もこのお話を聞いていますので、ぜひ聞いてみてください。この5つの心を毎日の生活の中で忘れず、一人でできるようになったら、その人は、きっと勉強でもスポーツでも、様々なことで活躍できる人になると思います。忘れないように、古賀塾のまねをして、毎日、声に出して試してみるのもいいと思います。